



第87回

めぐり

百選

ぬまづの宝



沼津垣

風情を編み込んだパーテーション



駿河湾に面した沼津では、名産である干物の天日干しに最適な南西の強い風が吹きつけます。この風や、風が運ぶ砂や塩害を和らげるために、沼津垣と呼ばれる竹垣が利用されてきました。丸く細い箱根竹を十数本ずつ束ね、網代模様^{あじろ}に丁寧^{ていねい}に編んでいくことで風防・砂防の機能を発揮し、職人技が織りなす美しい幾何学模様は優れた景観性も兼ね備えています。

沼津垣は江戸時代前期には作られていたといわれ、歌川広重の浮世絵にも描かれており、古くから地域で広く利用されてきたことが伺えます。

現在では、沼津御用邸記念公園、若山牧水記念館、沼津港と千本浜公園をつなぐ「文字のみち」沿いの風情あるまちなみでもその姿を目にすることができます。

沼津垣の美しい佇まいは、趣ある景観を演出する住宅のエクステリアとして、今日でも利用されています。意外なところでは、沼津駅北口駅前広場の歩道や永代橋の欄干は沼津垣をモチーフにデザインされており、スターバックスコピー沼津花園店の店内には沼津市シルバー人材センターで制作された沼津垣にアートの要素をプラスしたオブジェが飾られています。

400年近く続く伝統技法の枠を超え、私たちの暮らしにも編み込まれた沼津垣。時を超えて誇ることのできる地域資源といえるでしょう。



広報ぬまづ 2020年9月1日号 No.1628 <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。

TEL 055-934-4703 FAX 055-935-1560 メール kouhou@city.numazu.lg.jp

この広報紙は、再生紙を使用しています。

沼津市の統計		人口	19万3,896人
男性	9万5,831人	女性	9万8,065人
世帯数	9万2,769世帯		

(8月1日現在)

新型コロナウイルス感染の拡大防止と日常的な活動の両立を図っていくため「新しい生活様式」を意識した生活を心がけましょう。